

まちぴあ

身近なつながりに出会おう



TAKE FREE

無料

特集

自然豊かな里山がつなぐ、
人×仕事×交流のある暮らし。

ほっとねっと

特定非営利活動法人うつのみやオリーブ

まちぴあ登録団体紹介

うれかじストリングス／ohana yoga サークル

まちづくりのしくみコラム

日常生活に埋め込まれた社会教育

UTSUNOMIYA NAGAOKA

自然豊かな里山がつなぐ、 人×仕事×交流のある暮らし。

知的障害や精神障害のある人たちが、環境に優しい有機農法で野菜や果物を作っています。もともと遊休農地となっていた畑を耕し、人の手で少しずつ里山が整備されたことで、多様な人々が集い、あらたなコミュニティが生まれています。

宇都宮の環状線から一本入ったところに豊かな自然が広がっています。そこだけ時代に取り残されたような里山の風景です。この長岡に、子ども、障がい者、高齢者など多様な人々が有機的につながる場をつくらうと「ソーシャルファーム長岡」を開業したのは2012年のことでした。いまでは障がい者の就業支援施設として、毎日15名程度の利用者が、季節の野菜づくりや加工、販売などに汗を流しています。近隣保育園のお散歩コースにもなっていて、農場マスコットであるヤギのメイちゃんにちびっこが草をあげたり、



■ ソーシャルファーム長岡

宇都宮市長岡町293 TEL.028-680-6612
<https://socialfirmtochigi.org/sf-nagaoka>
【事業内容】就労継続支援A型・就労継続支援B型
(運営母体は一般社団法人ソーシャルファーム栃木)

ビーグル養蜂園

ハチミツの採取、卸販売、農家向けに授粉用ミツバチの貸出など行いながら、大正時代の石蔵をリノベーションした直売店をオープンしました。ハチミツをたっぷり使用したドリンクやデザートの店内飲食、テイクアウトが可能。人気の宇都宮産ミルフィオーリは、周辺に自生するさまざまな花の蜜を集めてブレンドした希少なハチミツです。



■ ビーグル養蜂園 HONEY SHOP

宇都宮市長岡町276
【営業時間】10:00~18:00
【定休日】月曜日
<https://www.apirybeeagle.net>
(運営は株式会社ビーグルズ)



秋には芋掘り体験を行ったりと、利用者と交流する姿もよく見られる光景なのだとか。

この里山を子どもたちの遊び場や自然体験のフィールドにと着目したのは「naoc あおぞらきつず」という会員の制のアウトドアクラブです。日々変化する自然をそのまま遊び道具として、子どもたちの探求、心や創造力を育む野外活動をいくつも展開しています。

さらに2020年10月には「ビートル養蜂園」の直売店がオープン。テラス席はわんちゃん同伴OKで、買い物をするのと無料で利用できるドッグランまで併設されていることから、愛犬家の中でも人気が広がっているそうです。

秋には「森のマーケットながおか」の開催が予定されていて、自然豊かな空間でゆったり贅沢なひとときを過ごそうと、多くの家族連れなどで賑わうことでしょう。

時代の変化とともに姿を消していくものがある一方、失われた風景を再生し、あらたな価値を見出すことで生まれる豊かさがあることを、この里山は教えてくれています。四季折々、ふとしたときにまた訪れてみたい原風景となるかもしれません。

森のマーケットながおか

公園でもテーマパークでもない里山で、季節の植物や昆虫たちに囲まれながら、ゆったりとした時間が流れます。美味しいものを食べ、フリーマーケットで買い物したり、自然素材を使った小物づくりやヨガなどのワークショップを楽しんだり。過ごし方は人それぞれ。



森のようちえん

満3歳児～小学生未満のちびっこを対象とした、森、小川、竹林、田んぼ、畑がある里山そのものが幼稚園となり、自然環境を活かしながら子どもが自由に遊ぶことを大事にしている活動です。何をしても楽しむかは子どもたち次第。遊びの可能性は無限大に広がっています。



リカイスクール

小学生を対象にした、創造性を育む里山での「道草」探究活動です。自然の中で遊び、夢中になるモノやコトを自ら創造していきます。毎回「博士ちゃん」が登場し、活動をアシスト。テーマに興味があれば、研究したり質問したりと、さらに一歩踏み込んで探究していきます。



■ naoc あおぞらきつず

【事務所】宇都宮市昭和2-5-25 TEL.028-650-4822
<https://www.naoc-jp.com> (運営は有限会社エム・アール・ピー)



ソーシャルファーム長岡

福祉施設(就労継続支援B型)として、豊かな自然に囲まれながら障がいのある方が農作業に励んでいます。生産、収穫、加工まで自分たちで行い、市内のスーパーや農産直売所などで販売されています。焼き芋など直販も行い、ご近所さんもよく買いに来るそうです。



まちづくり活動仲間が目指すもの

ほっとねっと

No. 46

子ども食堂に代表される活動の広がりによって、子どもの貧困問題が社会課題として多くの人々に認知されるようになりました。今回は、豊郷地区に根差し、貧困など地域地区内の課題を住民自身で解決しようと取り組む団体さんにお話を伺いました。

子ども食堂から「愛される地域づくり」へ

「心休まる地域の居場所」

豊郷地区の公民館を使って、毎週水曜・金曜の放課後の時間に親子で集まれる居場所がオープンしています。運営しているのは、豊郷地区に根差したNPO法人「うつのみやオリーブ」のみなさんです。寄附してもらった食品を活用して子ども食堂を開催するだけでなく、学習支援の場になっています。



うつのみやオリーブ

2020年4月NPO法人格取得。
オリーブの花言葉「平和と知恵」をあしらったロゴ

また、家庭状況が心配される保護者や子どもたちとつながることで、本当に困る前に相談できる地域の味方にもなっています。居場所をはじめてみると、家庭や子育ての悩みを抱えた人々からの相談が少しずつ寄せられようになりました。「自分たちが知らないだけで、貧困の問題はとて近くにある」というショックがあったそうです。

「地域密着のNPO法人」

うつのみやオリーブの活動は、学童保育に従事した経験のある仲間たちを中心に、豊郷地区内の有志が集まり、規格外の農産物など余剰食品を回収・分別し、必要な家庭へ無料配送するフードドライブの活動からはじまりました。さらに、寄附食材の活用を広げようと子ども食堂を兼ねた居場所事業が実施されるようになると、地区内の小学校とも連携も広がっていったそうです。



放課後たくさん子どもたちが集まる地域の居場所

NPO法人ならではの地域に密着したさまざまな活動が続けていく中、これまでの実績が土台となつて、2022年からは豊郷地区の六つの小学校で放課後児童クラブ（子どもの家の指定管理運営）がはじまりました。家庭環境が心配される児童のケアを学校だけで担うのは困難だからこそ、豊郷地区で育つ子どもたちを住民みんなで支えたいという想いが、着実にまちづくりへと浸透しはじめています。

「地区全体で次世代を育む」

法人の活動は、地域の皆さんによって支えられています。フードシェアからはじまった寄附は、いまでは食品以外にも、文房具や学制服など学校生活に役立つものまで集まるようになったそうです。これまで捨てられてきたものが地域内でリユースされることで持続可能な社会へとつながります。

居場所事業には、さまざまな特技を持つボランティアの皆さんが、外遊びや工作などの体験活動を提供してくれています。子どもの居場所であるだけでなく、多世代間交流や社会参画による生きがいづくりの場としても機能しているようです。豊郷地区全体で愛される地域づくりの芽が育ちはじめています。



手作りごはんをみんなで食べる、楽しい夕食の時間

特定非営利活動法人 うつのみやオリーブ

栃木県宇都宮市立伏町447-50
TEL. 028-678-6736 FAX. 028-678-6737
URL: <https://www.utsunomiya-olive.com/>

取材後記

今回の取材では、貧困問題をきっかけに、住んでいる地域への愛着というものの大切さを考えさせられました。「自分たちの地域は自分たちで良くする」という意識醸成は課題解決に欠かせない原動力なのだ実感しました。

ちよつと気になる

コレクシヨ

餃子×恐竜。SNSでじわり人気

手のひらサイズのかわいいお土産品、その名も「ぎょうざうるす」。かんぴょうとふくべ細工などの民芸品を取り扱う酒井商店で、いま注目のアイテムです。

付けてみたのが

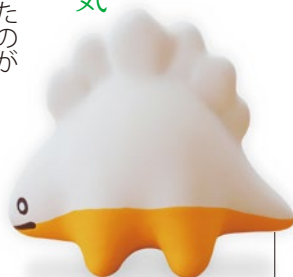
始まりだそうで、焼き色や茹でたてを絶妙な色あい

で登場する限定品を含めると十数種にも。2015年から店内に生息して

素焼きのステゴサウルスが餃子に見えて試しに色を

気がなり、カプセルトイやクレーンゲームなどコラボ商品も増えています。

絵付けは一つずつ手作業のため、いずれも表情が異なる一点モノ。店頭に並んでも



ぎょうざうるす
660円(税込)

有限会社酒井商店
〒320-0811
栃木県宇都宮市大通り3-3-4
TEL.028-634-4735

営業時間：9:00~18:00
定休日：水曜日

Twitter & Instagram:
@tochigisakai

うつつのみや発の

大道芸をこれからも広めたい

話題人

「大道芸オスピタパーティー in 宇都宮」というイベントを主催する団体代表の小安美喜さん。

新型コロナウイルスの影響でイベントの中止やキャンセルで大き

な被害を受けたエンタメ業界だけに、「将来に不安を抱えている大道芸パフォーマーも多いはず」と、全国のパフォー

マーとも直接交渉して参加を呼びかけ、2020年からイベントを継続開催してきました



小安美喜さん
こやすみき

愉快なまちづくりオスピタリタ 代表
宇都宮市出身・在住
好きな動物：ネコ
最近の趣味：旅行

た。なかなかリアルにはお目にかかれない一流の技に触れ、まちには笑顔が溢れ、ひとときの賑わいを創出してきています。

「観客、パフォーマー、運営が一体となってつくりあげるフェスならではの魅力を発信して、大道芸文化をもっと広めたい」と、小安さんは第3回目の開催に向けて意気込みを話してくれました。



今年のおスピタパーティーは
9月9日・10日に開催予定

MACHI DUKURI TOPICS



「まちづくりって何？」そんなアナタにディープな地元ネタから、今が旬のレア情報まで、まちびあから“まちパワー”を発信します!!

とっておきの 関心空間

山と人をつなげる

交流会

山好きが集う交流会「山カフエ」が毎月一回、大谷にあるレンタルスペースにて行われています。ロープ体験教室や山についての情報交換が主な

内容です。初心者でも気軽に参加でき、登山のルールや注意点、持ち物などを経験者から聞くことができます。参加者同士で登山へ行くなど山仲間ができて、山と人がつながる機会になっています。「登山のレベルに関係なく

楽しく話せる雰囲気があります。盛り上がりつつ終了時間を延長することもあります」と主催の Mountains Knotさん。
アウトドアショップ店員だった経験や山岳ガイドを行う中で、山について話せる時間をまちなかで作りたいたいこの活動を始めました。機会があれば、野外でも実施して

いきたいと話してくれました。

Mountains knot

〒321-0345
栃木県宇都宮市大谷町1240
OHYA BASE内
URL:
<https://www.mountains-knot.com/>
Instagram: @mountains_knot



コーヒー片手に情報交換。これまでにないつながりが生まれています



合奏ならではの楽しさを

うれかじストリングスは、クラシックギターの合奏を通し、音楽性の向上と地域文化に貢献することを目的としたギター合奏サークルです。年2回の演奏会に向けて、日々精力的に活動しています。代表さんが初心者向けギター講習会に参加し、ギターの魅力に取り憑かれ仲間を誘ってサークルを

立ち上げたのがきっかけ。名前の由来は「みんな熟女ばかりなので熟れた果実から略してうれかじ」だそうです。今では男性も増えています。活動の主軸はメンバー同士の親睦を深め、音楽を楽しむこと。合奏がメインなので、皆で曲を作っていく、一人では味わえない快感があるとのこと。日常は明るく・楽しくをモットーに、無理のない範囲でお互い助け

合いながら活動をしています。演奏曲目は多岐に渡り、歌謡曲・ポップス・フォークソングなど有名曲を演奏します。現在は各自のスキルアップを目標としており、ゆくゆくは大きな会場で演奏したい、と語ってくれました。初心者向けのレッスン等もありますので、クラシックギターに興味がある方はこの機会に参加してみてください。



練習している様子です

【団体名】 **うれかじストリングス**

【活動場所】 横川地区市民センター、まちづくりセンターまちぴあ
【活動時間】 毎週金曜午後1時～5時
【問い合わせ】 yasuno214@gmail.com

子育てママさんがヨガでリフレッシュ



子育てママの悩み解消

子育て中のママさんを中心に、親子のヨガサークルを主催している「ohana yoga サークル」さんをご紹介します。

「ohana」(おはな)は、ハワイ語で「家族」を意味し、血縁関係だけでなく、友人やコミュニティなども含めた「家族のような存在」という意

味があるそうです。代表の中川原さんがこのような空間を創りたいと、2022年9月に団体を設立しました。ベビーヨガ、ママヨガなど、親子のコミュニケーションを取るポーズや運動で親子の絆を深め、子どもの健やかな成長を促します。出産後のママさんには、身体の変化に対して骨盤のケアや股関節のストレッチなどを行い、ストレスの解消、体力回

復や心身のリラックスを促します。クールダウンも兼ねて行う茶話会では、同年齢代の子を持つママさん同士、親子の交流や子育ての情報交換、育児の悩みを共有する場ともなっています。今後は、子育てに奮闘しているママさんが、さらに笑顔で健康になるお手伝いをするために、パークヨガも検討しているとのこと



子どもたちもとっても楽しそうに遊んでいます

です。まずはお気軽に参加してみてください。ぜひ一緒に「ohanaの精神」を共有しませんか？

【団体名】 **ohana yoga サークル**

【代表者】 中川原 未季 (なかがわら みき)
【連絡先】 TEL. 028-661-2778
【活動場所】 宇都宮まちづくりセンター
【活動日時】 週1回 午前中(約2時間)



つちざき
土崎 雄祐
プロフィール

一般社団法人とちぎ市民協働研究会専務理事、NPO法人宇都宮まちづくり市民工房常務理事。NPOの運営支援や市民向け講座のプログラム開発、団体等の職員研修の企画立案などに従事。専門はボランティア・NPO論。趣味は某アイドルの追っかけ

書籍紹介
まちづくりを考える
この一冊!



公民館のしあさって出版委員会 編

「公民館のしあさって」

ポスターインク
2021年11月20日発行

このコーナーでは市民のみなさん、市民活動関係者、行政関係者などからのご意見、ご感想をお待ちしています。紙面上での意見交換へと発展することを期待します。ご意見・ご感想はまちびあ広報部へ。



土崎 雄祐 氏

日常生活に
埋め込まれた
社会教育

いきなり私事で恐縮ですが、筆者は社会人大学院生として土木工学系の研究室に所属し、地域防災に関する研究をしています。週一回のゼミでは、自身の研究の進捗を報告するとともに、ほかの学生（多くは大学4年生）の研究内容を知ることができま

す。学生時代、教育学部で社会教育を学んだ文系の筆者にとって、理系の現役学生たちによる報告は、やや難解ではあると

感じるものが間々あるものの、いつも刺激的で示唆に富んでいます。

最近、興味深いと感じているのは、そうした学生たちが「地域住民向け研修の体系化」「地域公民館の防災拠点化」といった社会教育的な研究テーマを探究していることです。ここでいう「社会教育的」というのは、学習機会としての研修や学びの拠点としての公民館のことを指しています。

2018年の中央教育審議会による答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」において、社会教育には、人づくり、つながりづくり、そして、地域づくりの側面があることが指摘されています。公民館などで開催される研修や講座などの学びの場に人々が参加することで、参加者自身の知識や経験がアップデートされ（人づくり）、同時に、そうした人々が学びによる気づきや課題を持ち寄り（つながりづくり）、新たな取組が生まれることが期待されます。そして、こうした個人や小

集団による取組が地域に蓄積されることで、豊かな地域が育まれる（地域づくり）ようになります。

ところで、こうした学びの場は、公民館での研修などに限ったことではありません。研修や講座はさまざまな主体によって、さまざまなテーマで開催されていますし、そもそも「学び」は与えられるだけでなく、日々の活動のなかで無意識のうち（偶発的）に獲得することも大いにあり得るのです。

つまり、「社会教育的」な事象は、私たちの日常生活の至る所に埋め込まれていると言っても過言ではありません。そうした暮らしや仕事に深く埋め込まれている「学び」という営みに、「社会教育」という名前が付いたと理解するのが妥当なのかもしれません。学び続ける習慣を身につけ、困難なことにも乗り越えていくための仲間を得ながら、生涯にわたって幸せに生きていきたいと、日々の研究や現役学生たちとの話らいのなかで、ふと考えていたところです。

まちぴあ
書庫から

PICK UP!

「弱さ」を「強さ」に変えて
大切な人が生きやすい社会をつくろう

表紙に点字が施されためずらしいデザインのビジネス書。コピーライターとして活躍する著者は、32歳のときに誕生した息子の目が見えないという現実と直面したことで価値観が変わり、働き方や考え方を見つめ直しました。第一線を退き、福祉業界という「マイノリティ」の世界に活動の場を移し、自身が培った「強み」とさまざまな「弱さ」を社会課題とかけ合わせ、福祉に新しい風を吹き込んだのです。その全貌をまとめた本書は、前半にマイノリ

ティとは何か、義足をファッションにした「切断ヴィーナスショー」や運動音痴でも楽しめる「ゆるスポーツ」などの具体例を紹介していて、後半には実際に自分で動いてみようと思ったときに考えるポイントや、整理の視点がわかりやすく説明されています。

「苦手」や「できないこと」、「コンプレックス」や「障害」は、克服するものではなく、生かせるものだと考える著者の強い思いが詰まった一冊です。



「マイノリティ
デザイン」

澤田智洋 著/株式会社ライツ社
2021年1月発行

まちぴあからのお知らせ

イベント情報

まちぴあ勉強会「放射線を楽しく学ぼう」

家庭で使う電化製品や病院の治療など、とても身近なところで活躍している放射線について楽しく学べる講座です。科学、技術の解説から、技術的な着眼点を日本技術会・原子力放射線部門の専門家から学べます。



日時 7月29日(土) 13:00~15:00

会場 まちづくりセンターまちぴあ

定員 20名程度(先着順)

問合せ 宇都宮市まちづくりセンターまちぴあ



市民活動助成基金 ご協力ありがとうございます

- 栄商事 株式会社
- 株式会社フケタ都市開発
- 株式会社池澤設計
- 株式会社エイチ・エル・シー
- 株式会社宇東電設
- 宇都宮屋台横丁 (敬称略)

市民活動助成基金とは

宇都宮市では、ボランティア活動やNPO活動を活発にし、全市民的に広げていくため、これらの活動を市民、企業、行政のみならず支える仕組みとして「市民活動助成基金」を設置しています。

この基金は、市民の皆さんによる「市民活動を応援する気持ち」である寄附金を積み立てるとともに、宇都宮市が寄附金と同額を支出して、積み立てています。

ボランティア団体やNPO法人の活躍により、宇都宮を元気ある、すてきな街とするため、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

宇都宮市役所 みんなでまちづくり課
まちづくりグループ TEL.028-632-2288
URL: <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

※トップページ▶(分野別で探す)
市民協働・コミュニティ
▶ボランティア・NPO

スマホアプリをダウンロードして
まちづくり活動に参加しませんか?

ボランティア専用アプリ

まち活 愉快だ 宇都宮

QRコードにアクセス!

宇都宮市まちづくり活動応援事業 検索

情報誌「まちぴあ」の
バックナンバーがご覧いただけます。

最新情報にアクセス!

<http://www.u-machipia.org>

まちぴあ 検索

まちぴあ新規登録団体 (2023年4月30日現在 登録団体数 173団体)

(特非) 栃木県子ども応援なないろ

栃木県に在住・通学する貧困や家庭環境により満足な生活が難しい子どもを対象とした、衣食に関する支援事業を地域や関係機関と連携し、継続的に行う

宇都宮イベント情報局 みやイベ

宇都宮市における市民活動団体及びNPO法人などが行うイベント情報のSNS発信協力、市民活動団体の運営協力

うつのみやK. K. W

宇都宮市を含む栃木県を訪れた外国籍の方へ、英語を中心とした街の案内役を育てる勉強会などの開催

なかよしひろば にここごらす

孤立しがちな育児を地域との関わりを深め、体験学習や地域活動を交えた子育て支援活動を推進し、みんなの居場所・青少年育成・学生服リユース及びリサイクルの振興に寄与

INDIAN ART

マンダラアート(インドの伝統的アート技法)を学ぶ場を提供することで、国際理解・国際交流を図る

就労支援プログラミング まなび

学生など年齢を問わず参加できるプログラミング教室の実施を通して、栃木県内の就労支援に寄与する

合唱団やまびこ

合唱を通じて音楽の向上を図り、健康の増進と親交を深め、生きがいづくり、地域の福祉施設や包括支援センター、老人会などの活動を支援



宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ

(指定管理者: 認定NPO法人 宇都宮まちづくり市民工房)

〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉5丁目9-7

TEL.028-661-2778 / 028-661-2779
FAX.028-689-2731

E-mail: info@u-machipia.org URL: <http://www.u-machipia.org>

開館時間 午前9時から午後9時30分まで(日祝は午後5時まで)

休館日 年末年始(12月29日~翌年1月3日)
臨時休館(施設点検等)

JR宇都宮駅東口から徒歩15分 駐車場28台

まちぴあ情報誌の音訳版もございます。ご希望の方はまちぴあまでご連絡ください。